

ミツバフウロ

Geranium wilfordii Maxim.

岡山県：絶滅危惧Ⅱ類

被子植物門 双子葉類 離弁花群

環境省：該当なし

フウロソウ科

選定理由

岡山県の生育地は北部の一部に局限しており、生育環境が悪化している。

存続を脅かす要因

産地局限、踏みつけ

分布状況

県内：北部の西粟倉村、鏡野町などあったとされるが、近年の確認情報はない。

県外：北海道から四国・九州、さらに朝鮮・中国にも分布している。

生育情報

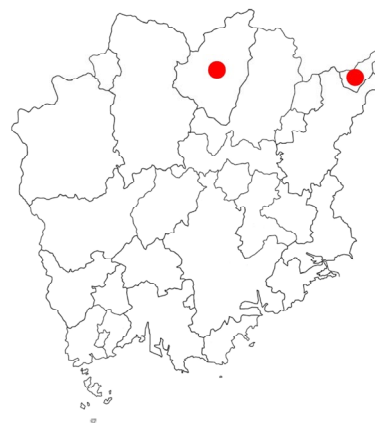
山地や草原に生える多年草。茎の上部は立ち上がるが、下部は倒れ伏し、長さ30～80cmで、節が太く、茎や葉に毛がある。葉は対生し長い葉柄があり、長さ3cm内外、幅1.5～10cm、3深裂する。裂片は広皮針形でとがり、整った鋸歯があり、表面および裏面脈上に細毛がある。花期は7～10月。葉腋から長い花柄を出し、先に柄のある1～2個の淡紅紫色の花をつける。

文献番号 121, 129

(高山敬三)



撮影：波田善夫



ビッチュウフウロ

Geranium yoshinoi Makino ex Nakai

岡山県：準絶滅危惧

被子植物門 双子葉類 離弁花群

環境省：該当なし

フウロソウ科

選定理由

岡山県内では北西部にみられるが、生育地である草地の変化などで生育地が狭められる傾向にある。

存続を脅かす要因

管理放棄、踏みつけ

分布状況

県内：中西部の高梁市などと北西部の真庭市などで見られる。

県外：本州の長野県、東海・近畿地方、中国地方北部に分布している。

生育情報

山の湿った草地に生える多年草。茎は長さ50cm内外になり、葉柄とともに下向きの短毛がある。葉は薄く、葉身は幅5～8cmで、掌状に5深裂し、裂片はさらに1～2回3出状に切れ込み、表面及び裏面脈上に毛がある。花期は8～10月。細長い花柄上に2花をつける。花は径2cm前後、薄紅紫色で花弁に濃い色の脈がある。花柄および小花柄に下向きの毛がある。

特記事項

岡山県産の個体がタイプ標本となっている。「自然公園法」による大山隠岐国立公園ならびに氷ノ山後山那岐山国定公園の指定植物である。また「岡山県自然保護条例」による自然保護地域のうち、鯉ヶ窪湿原（新見市）において保護すべき種に指定されており、捕獲等が禁止されている。

文献番号 109, 121, 129

(高山敬三)



撮影：西本孝

